区分60	専門分野 臨床検査総合管理	授業科目名	総合演習	単位数	1単位 （20時間）
開講時期	1年　前期	担当教員	松田　一之	担当教員の実務経験	(有)・無

◆実務経験の内容

1982年～長崎市立市民病院にて、病理検査、輸血・移植検査、免疫検査、微生物検査、緊急検査業務など検体検査全般を担当。1997年～長崎市立市民病院にて、循環器系検査、神経・筋機能検査、呼吸器系検査、感覚機能検査、画像検査など、生理機能検査全般をを担当。2010年～長崎みなとメディカルセンター（旧長崎市立市民病院）にて、臨床検査部技師長業務の傍ら超音波検査など生理機能検査全般を担当。2015年～長崎みなとメディカルセンター事務部にて、診療報酬関連、病院経営管理などを担当。以上、39年間の病院勤務実績あり。

◆授業の目的・目標

日本不整脈心電学会が医療従事者の心電図知識の普及を目的に2015年に心電図検定を立ち上げた。この検定は4級から1級のレベルがあり、学生も受験できる。本校ではR7年度に1・2年生23名が4級と3級を受験し、19名が合格した。本年度は前期10コマ、後期10コマで標準12誘導をはじめ、ホルター心電図、モニター心電図の判読知識を身につけ、1年で3級合格を目指す。ただし、受験は希望者のみとするが、未受験であっても臨床検査技師国家試験や将来医療従事者となったときに役立つ心電図基礎知識の定着を目的とする。

◆授業の概要・授業方針

・心電図波形を読影するだけでなく、病態を理解するトレーニングを行う。
・心電図検定対策アプリを使っての反復練習を行う。

◆テキスト・参考資料等

・最新臨床検査学講座「生理機能検査学」第2版　（医歯薬出版）
・必要に応じて資料を配布する。
・心電図検定公式問題集＆ガイド（メディカ出版）

◆成績評価の方法

定期試験

	授業計画	チェック欄
第1回	刺激伝導系と心電図波形の成り立ち、心電図波形の計測	5/26（火）
第2回	標準12誘導心電図の誘導法と誘導の意味、電気軸、回転	6/2（火）
第3回	リズム・期外収縮	6/9（火）
第4回	心拍数（頻脈性不整脈・徐脈性不整脈）	6/16（火）
第5回	P波・PQ間隔	6/23（火）
第6回	QRS	6/26（金）
第7回	ST・T波	7/3（金）
第8回	QT時間	7/10（金）
第9回	J波・ε波・U波	7/17（金）
第10回	読影反復トレーニング	7/24（金）